

# 原子力事故再発防止顧問会議 第1回会合(2011年10月4日) 飯田哲也提出資料

1. 名称:
  - ・ 正名論から「規制」の必要性
2. 3・11という原点から
  - ・ 無策・無能・無責任だった現実
  - ・ 「人々の安全」より「混乱防止」の重視
3. 人
  - ・ 制度としての人事論の重要性
  - ・ 固有名詞での人事の重要性
4. 組織
  - ・ 「原子カムラ」の組織文化を脱す: 推進でも反対でもなく人々の安全
  - ・ 独立性と緊張感のある組織
  - ・ しかし同時に、オープンかつ透明で、国民から信頼されること
5. 実質性・リアリティ
  - ・ 安全性をリアルかつ実質的に高める

## 原子力安全神話の実像

### 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震について

平成23年3月11日(22:35)現在  
緊急災害対策本部

- 20:30 1、2、3号機、中操照明確保準備中、M/C水没  
2号機については、優先的に電源車つなぎこみ作業待ち
- 21:00 D/D消化ポンプを起動し、炉圧が低下したら注入できる体制を執っている。

#### 【東京電力福島第一原発 緊急対策室情報】

- 2号機のTAF(有効燃料頂部)到達予想、21時40分頃と評価。  
炉心損傷開始予想: 22時20分頃
- RPV(原子炉圧力容器)破損予想: 23時50分頃
- 1号機は評価中